

行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回 答	担当部課
英田	公文	出勤時間ギリギリの人を見受けるが、いかがなものか。	8：30から仕事なので、8：10～15には準備にかかるべきです。火～金曜日は8：20からラジオ体操を行っていますし、月曜日は8：15から朝礼をして、業務伝達や掃除を行っています。マンネリ化や出席率が減少しないよう徹底を図っています。また、懇談会での市民の方からの意見として、職員へ十分に周知します。	総務部
英田	公文	ふるさと納税で稼いでいるところがあり、東京の税収が減っていると聞く。息子もお返しが良いのでよその自治体に納めており、若い人の本音だろう。さらに喜ばれるお返しを工夫することで、税金が稼げるのではないか。	お礼の品カタログをホームページに掲載したところ、ピオーネに殺到し、約300件中100件を占め、2位はジビエの猪肉で50件でした。クレジット決済も検討中です。市内の商品を使えば、お金が地元に残ります。	企画振興部
英田	公文	青野は空き家が多い。管理者に空き家バンクについて通知しているか。空き家は草木に覆われ、倒壊の危険がある。危険家屋の調査をして対策をするのか。	固定資産税の通知に同封したところ、反響が多く15件登録があり、マッチングは3～4件でした。空き家については①有効活用②危険家屋の処理が必要です。代執行などができる制度はできたので、所有者に通知して年に何件か除去していきたい。	企画振興部
英田	公文	一人暮らし、二人暮らしの高齢者が増えていて、免許証を返還したり自動車に乗れなくなると、医療を受けるのも食料品を買うのも困難になる。タクシー補助や生活用品支援など、何らかの手がうてないか。	切迫した状況。公約にもあげており、500円位で動けるような白タク解禁を検討していますが、市だけではうまくいきません。特区申請をすればできるの話があり、エリアをどうするかなど国と相談し、社会実験ができないかと考えています。空気を乗せたバスの維持費は高いので白タクに配分して、多少コストがかかっても高齢者が楽に移動できる手段を確保したい。国県制度を1～2年かけて勉強し、平成30年頃を目標に実施を目指します。	保健福祉部
英田	公文	トヨタの社会実験の具体的内容は。	超小型モビリティの日常利用、観光利用、農業利用の社会実験を4年間することになっています。モニターの宿泊需要が生まれ、観光資源にもなります。	企画振興部
英田	公文	有害鳥獣のシカ、イノシシが春から増加。夏に猟友会の英田支部長に駆除をお願いしたが、実際には駆除していない。市からの援助がなくたびれもうけと思っているのではないか。美作地域には駆除班があるが、英田地域にはない。なわばりをなくし、柔軟に対応いただくよう指導していただきたい。	シカ、イノシシは全市的な問題ですが、市だけの対応では無理になっています。平成25年に3000頭だったシカの駆除が、平成27年は6000頭になりそうな勢いです。シカの数を半減させなければいくら獲っても減りません。現在2億円の予算を要して、兵庫県からやってきたシカを美作市、備前市、和気町でたくさん獲って堰き止めている形で、防衛費を単独で負担するのはつらいことです。ジビエのブランド化を図りたい。最近猿問題が発生し、海田、猪臥、宗掛、大町で話がありました。捕獲が難しく、先進地の兵庫県に教わりたい。	経済部

行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回 答	担当部課
英田	公文	湯郷温泉などを活用して若い娘を集める。若い女性が いるところには、男が集まってくる。	看護学校ができれば、多くの女性が来て、色々な経済効果が想定できます。大原、湯郷などに若い人がまちを歩いている演出をしたい。なお、4月から実施されるJRディスティネーションキャンペーンの一環として、湯郷温泉を舞台にして、若い女性を含めた集客イベントの実施を予定しています。	経済部
英田	公文	雲海の状況はどうなっているか。	立て直す作業が始まらない要因と今後の見通しは、①前の混乱の整理をし、提訴する作業に時間がかかった。トヨタの社会実験が英田で行われる見通しで、今月中に記者発表される。雲海も関連しており、再生計画が動き出す。②体育施設や動物園は経営部門から外して、負担軽減を図りたい。③地元要望としては、大人数で集まれる広い場所がほしいことと食事ができる場所を復活してほしいということで、平成28年度当初予算に修繕費用を要求しています。※回答の内容は行政懇談会開催時点	経済部
英田	公文	人口25000人の維持は難しい。外部からの企業と 地場の中小企業が生き残って働くところがあれば残る が、ないので出てしまう。そこで次の提案をしたい。 地場企業の支援。	良い視点です。地元がしっかりしていなければ、よそから来ません。作東産業団地中心の経済政策を転換し、既存企業対策に振り分けも行いたい。市長は経済産業省出身で、国の支援やノウハウの移転、ジェットロで北米での販路開拓を担当してきましたので、気軽にご相談いただきたい。 平成27年度より雇用促進事業に取り組んでおり、市民の方を正規従業員として雇った事業所を対象として、奨励金を交付することとしています。市外の方が就職に伴い市内に転入される場合も該当しますので、詳しくは産業振興課までお問い合わせ願いたい。	経済部
英田	公文	圃場整備の時、道路拡張のために田んぼの一部を譲渡 したが、20年経っても広くならない。スクールバス が通る時には待たなければならない。ごみも捨てられ ており、早く何とかして円滑に通行できるようにして もらいたい。一部反対者の土地が残っている。市長が 話に行ったら出すかもしれない。	岡山県は、反対があれば強制しない、さわらないといった方針となっています。地域の調整で関係者の同意が得られれば、進展も見込まれると思います。	建設部
英田	公文	鳥淵でも同じ悩みがある。改善をお願いしたい。	要望を行っています。	建設部
英田	公文	吉野川の浚渫等、以前からの要望事項の進展状況は？	浚渫は土捨て場が確保できれば、早期に対応できます。適地を探していますが、地元同意の得られる土地で、市が取得しなければなりません。安全な適地があればご紹介いただきたい。市道側の溝蓋新設については、断面が減少するので区長と相談しており、平成28年度に対応したい。なお、「予算がない」は禁句にしているので、これ理由で事業ができないと対応した場合は、通報していただきたい。	建設部

行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回 答	担当部課
英田	公文	現在でも河川周辺の草刈りの費用と労力に困っており、広い河川敷を管理するのは重荷。	コンクリートの併用や芝張など労力を減らす形態もあります。岡山市の百間川は県が管理していますが、協働でどこまでするか、工事の後の河川敷をどうするかという議論があります。地元要望として、計画策定において検討するよう県に伝えますので、地元からも県に働きかけられたい。	建設部
英田	公文	今年4月から役をしているが、4部落集まったの会合をしても、縦割りのようでまとまりにくい。中心の青野にグラウンドがあれば、運動会をしたりグラウンドゴルフをしたりして交流ができる。	地元要望として、計画策定において検討するよう県に伝えるので、地元からも県に働きかけられたい。	建設部
英田	公文	下水道事業の企業会計が赤字とのことだったが、料金値上げを考えているのか。今も安くないが。	水道と下水道の料金は合併前の町村ごとにそれぞれ設定されており、合併後5年以内に統一するとしていましたが、未だできていません。英田地域の下水道料金は安く、水道料金は高い状態になっています。下水道は中山間地域においては割高になります。きれいになった影響は下流に及ぶので、環境税などの形で経費に還流することを国に提言していきたい。上下水道料金統一については今後議会とも協議しながら統一したい。※回答の内容は行政懇談会開催時点。料金一本化に関する条例改正はH28年3月議会で議決されました。	環境部